

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和7年1月16日

事業所名

放課後等デイサービス琳琳

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	利用人数によって座る位置や部屋を分けている。	集団活動の際、子供達が怪我をする事が無いよう、スペースの確保や子供達の配置に気を付けて安全に活動する。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	2	室内の階段に滑り止めを張り付けている。	室内の構造上、階段が撤去出来ない為、日頃から子供達に走らない、ジャンプしないと声掛けを行い、意識してもらっている。外階段は指導員が歩く位置に気を付けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0		毎月の指導員会議で資質向上研修として様々な研修に取り組んでいる。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	0	レクの内容を1週間ごとに入れ替えを行っている。	マンネリ化しない為に、個別の学習プリントや集団レクに新しい物を取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	長期休暇には毎日のスケジュールを組み、活動に取り組んだ。	悪天候の場合、室内活動で何が出来るかなど、日頃から考えておく必要がある。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3	0	退勤時間、送迎等により、時間が限られている為、翌日に振り返りを行っている。	残っている正職でその日の振り返りを行い、次の日に他の職員に伝えたり、連絡ノートを活用して支援に必要な事を記入し、共有を行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	毎日記録し、問題点が出た時には支援のやり方について話し合っている	・個別支援計画の目標に沿った子供の様子を記録できる様に意識していく。 ・支援に集中出来るよう、記録を書く時には他の職員に子供を見てもらおうようにしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	1	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	・下校時間の変更など、イレギュラーな時に間違いがないよう、引継ぎ時に再確認をするようになった。 ・予定表のコピーが取れない場合には、学校へ連絡し、下校時間の確認を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	2	0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	0	直接的に就学時前の園や事業所からの情報共有はなかなか出来ず、契約時に相談員からの基本情報を頂いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	1	0	相談員を通しての情報提供は行えているものの、直接的には出来ていない為、移行会議等の参加もしたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	0	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	2	以前、行っていた地元のサッカークラブとの交流の機会をまた設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	連絡帳やお迎え時にその日の状況を伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	0	モニタリングを通して、子供への関わり方や、褒めたり励ます事で支援に繋がっていると思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	0	1年に一度、保護者参観日を設け、子供達の活動の様子を見てもらっている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	0	0	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0		